

令和2年度 学校評価 集計結果と今後の方針 (分教室)



回答率	保護者	71%	84%
	教職員	100%	

*保護者：B部門（分教室）保護者

学校評価に御協力いただき、誠にありがとうございました。評価していただいた内容や、評価結果に基づき、設問ごとに今後の方針をまとめましたので、御覧ください。

多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重な御意見を多数いただきました。学校評価の結果について真摯に受け止め、さらなる教育の充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

東京都立 光明学園

令和2年度 学校評価 集計結果とまとめ

(1) 4段階の評価をプラス評価(4、3)とマイナス評価(2、1)とし、未記入を加え、表示しました。

(2) 評価記号について

全体合計(協議委員、保護者、教職員合計)において、以下の割合に基づき、各取組の評価を行いました。

- ① マイナス評価10%未満(◎)
- ② マイナス評価20%未満(○)
- ③ マイナス評価25%未満(△)
- ④ マイナス評価25%以上(▲)
- ⑤ 全体評価のマイナス評価は少ないが、未記入が10%以上であり、プラス評価も高いとは言えない(□)
- ⑥ 教職員の未記入が10%以上であり、校内の理解啓発取組が早急に必要(■)
- ⑦ 保護者の未記入が10%以上であり、保護者への理解啓発取組が早急に必要(◆)

(3) 回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)では、個人が特定できないように表現に改めるとともに、内容を一部要約しています。

Q1

そよ風分教室や病院訪問の児童・生徒が病状に応じた交流を通し、学園の一体感を感じられる教育活動を進めることができますか。

評価	保護者			教職員			全体			
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	
◎										
	96%	0%	4%	100%	0%	0%	98%	0%	2%	
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品展の案内もきちんとされて、学年を越えての一体感が感じられました。(保護者) ・ コロナ禍で様々な制限のある中、色々と工夫しながら行って下さり、ありがとうございます。(保護者) ・ コロナ感染を防ぐ為、今は仕方ないのかなと思います。ただもう少し今の状況でも他の児童達との何かしらの交流があれば良いと思います。(保護者) 										
今後の方針	コロナ禍においても、「学園生の学びを止めない」ことを学校経営の柱として取り組みました。今後もcovid-19の感染拡大防止への成育医療研究センターの方針及び対応を常に把握・相談しながら、コロナ禍での学びの充実に向けて、連携を強化し、併置校の特色を最大限生かした取組を行ってまいります。									

Q2 HP(ホームページ)やtwitter(ツイッター)、リーフレット、校内外の掲示板等を活用し、保護者や地域住民に向け、必要な内容が必要な時期に発信できていますか。

評価	保護者			教職員			全体					
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入			
◎				88%	8%	4%	93%	7%	0%	90%	8%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> HPやtwitterは拝見したことがありませんが、学校通信etcの手紙は楽しみに読ませて頂いています。(保護者) 転入前にHPを検索しましたが、小学部の詳細がわかりにくかったです。(保護者) ホームページを何度か見ているが、スマホから見ているからか見ずらく、よく分からない。情報が古く感じる。(保護者) 												
今後の方針 ホームページやTwitter などデジタルの特性を活かした学校からのお知らせをリアルタイムで更新し、引き続き発信してまいります。ホームページ上で分かりにくい部分があることにつきまして、課題を頂戴しました。スマホ画面で閲覧される方の視点にもたち、改善を図ってまいります。ぜひ今後もホームページをご覧ください。通信につきましては継続的に発行してまいります。												

Q3 授業者支援会議を通して、支援者の指導により、指導者が学習指導の改善や新たな視点を得る機会が、校内で作られていますか。

評価				教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				100%	0%	0%	100%	0%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)									
<ul style="list-style-type: none"> 授業を見てもらう、見させてもらうことで意見を頂き、より自分自身を成長させることができると考える。(教職員) 授業をみた教員のそれぞれの意見が聞けるのは、ふだん1人で授業をしているそよ風の教員にとっては新たな意見が聞ける場としてよいと思う。(教職員) 初任者や異動してきた教員を対象にした研修会を毎年実施し、授業者支援会議のやり方を浸透させていけると良い。(教職員) 									
今後の方針 普段単独で授業をすることの多い分教室や病院訪問の教員にとって、他教員の授業を見ることのできる機会は大変重要です。光明学園の授業改善の柱である授業者支援会議は、今後も継続して取り組んでまいります。									

Q4 個別指導計画や通知表、面談等を通して学園生への日々の取り組みや成果について伝えられていますか。

評価				保護者			教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎◆				88%	0%	13%	92%	4%	4%	90%	2%	8%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別面談で、学校生活の様子を教えてください、安心しました。(保護者) ・ 通知表や学期の学びを通して、保護者に適切に伝えられる。また児童自身も達成感を味わうことができている様子。(教職員) 												
<p>今後の方針</p> <p>通知表、個別指導計画等は、学部、教育課程ごとに様式を定め、学園生や保護者に学びの状況をお知らせするとともに大事な共通ツールとして、継続していきます。今年度は臨時休業により2・3学期の開始変更に伴い、学園生の学習の課題や成果がより明確に伝わるよう、通知表とは別に「光明の学び」を毎学期末にお届けしました。今後も、個別の面談を継続して実施し、指導計画の共有や、学習の様子をお伝えしていきます。</p>												

Q5 ICT機器や支援機器が効果的に学習指導に活用されていますか。

評価				保護者			教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				88%	4%	8%	93%	7%	0%	90%	5%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 足の手術で移動が困難な為、病院のベッドの上で授業が受けられるのは、すごくいいです。(保護者) ・ この点に対する対応は、本当にありがたいです。(保護者) ・ 時々、声が聞き取り辛かったり、画面が見えなくなってしまう事があり、残念です。(保護者) 												
<p>今後の方針</p> <p>これまでも分教室、病院訪問では、登校できない学園生にベッドサイド授業を実施してまいりました。感染予防のため、オンライン授業となった今年度も、その蓄積を駆使し、授業の充実を図ってまいりました。今後も、ICT機器を効果的に使用していきます。</p>												

Q6 いじめ・体罰防止、自殺防止を含め、学校全体で人権に配慮した適切な指導が行われていますか。

評価	保護者			教職員			全体					
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入			
◎◆				75%	0%	25%	97%	3%	0%	86%	2%	13%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職による日々のお話や講習により体罰防止の意識を高めることができた。(教職員) 												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学にて、いじめ・体罰等の事例は聞かない。常に注意しながら配慮がなされている結果だと思われる。(教職員) 												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談、連絡、報告の連携が取れている。(教職員) 												
今後の方針												
<p>週に1回校長・副校長以下各部・学部の幹部が出席する会議を実施し、関連する事実や気になる案件を共有し、早期発見に迅速に解決すべく、方策を確認・実行して対応しています。今後も、報告・連絡・相談の迅速な対応を継続し、組織一丸となって取り組んでまいります。</p>												

Q7 児童・生徒が安全に学習できる生活指導ができていますか。

評価	教職員			全体					
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入			
◎				97%	3%	0%	97%	3%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院と連携を取ることで、体調第一に授業を行うことができています。(教職員) 									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分教室で実施した教職員コロナ罹患を想定したシミュレーション訓練は、具体的で、様々な状況をイメージすることができてよかった。(教職員) 									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分教室での新型コロナ対応訓練を再度実施しても良いと思う。特に、病棟との連絡の取り方や管理職への連絡のタイミングや方法の確認がその際に出来たら良いと思う。(教職員) 									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院全体で実施する防災訓練にそよ風分教室として参加していけるとよい。(教職員) 									
今後の方針									
<p>今後も、covid-19の感染拡大防止への各病院の方針及び対応を常に把握・相談しながら、コロナ禍での学びの充実に向けて、連携を強化してまいります。今年度の合同防災訓練につきましては感染症予防の観点から中止となりましたが、次年度以降は合同で参加する予定です。</p>									

Q8 分教室内で、児童・生徒が事故や怪我をしないように、安全な環境整備ができていますか。

評価	保護者			教職員			全体					
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入			
◎◆				83%	0%	17%	90%	7%	3%	90%	7%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> オンライン授業のため、協力して消毒ブースなどを整えることができた。(教職員) 授業後の時間などに環境整備の時間が設けられ、一斉に整備の時間があるのが良いと思った。(教職員) 現在は分教室を児童・生徒が利用しているわけではないが、整理整頓は定期的に行うことができるようにするとよい。(教職員) 												
今後の方針	今年度は、学園生の分教室への登校がありませんでしたが、端末や教材など、病棟へ持ち込む物品の消毒作業を念入りに行い感染予防に努めました。今後も、定期的に環境整備を行い、感染予防を始め、安全・安心な教育環境づくりを徹底していきます。											

Q9 そよ風分教室、病院訪問と、病院(医療関係者)との連携は取れていますか。

評価	保護者			教職員			全体					
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入			
◎				96%	4%	0%	90%	10%	0%	93%	7%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> 病院のソーシャルワーカーの問題かもしれませんが、入院直前においても学校生活については一切教えられない(一切決まっていない)と伝えられたことに大変困惑しました。入院後の段取りもあるため、概要だけでも教えていただきたいかった。(保護者) 学校、病棟、リハビリ、個々に伝えないと伝わらないときがある。(保護者) 												
今後の方針	これまでも次週の授業予定をリハビリ室に連絡するなど連携を図って参りました。感染予防対策のため、例年とは異なるオンライン授業の実施となり、病棟以外の医療関係者には伝わりにくい状況がありましたが、今後も一層連携を強化し、御負担をおかけしないよう努めて参ります。											

Q10

両部門の就学・転学・入学・教育相談、地域支援、進路指導について、学園として東京都特別支援教育推進室と連携し、就学・転入予定児や児童・生徒本人、保護者へ適切に支援ができていますか。

評価				教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				81%	19%	0%	81%	19%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)									
・ 転入相談の流れがどの教員にも周知され、対応の仕方も統一されている。(教職員)									
・ コロナ禍で直接的な支援が難しい場面もあったが、電話等を活用したやり取りで適切に進められた部分もあった。(教職員)									
・ 進路指導については担任が主になって行っているが、本校との連携を図るためには、病訪だけでなく分教室にも進路担当を配置した方が良いと思う。(教職員)									
・ 今年度は異例で、都教委が保護者へ就学に関する確認を電話で行うことになったため、保護者から「都から電話がまだない」など不安の声があがってしまったケースがあった。(教職員)									
今後の方針		今年度は、コロナ禍により、病院訪問生の転学相談の流れ等について変更がありました。適宜、新しい情報に基づき、適切な対応を行い、御安心いただけるように進めてまいります。							

Q11

学園として、進路選択・進路指導に関する情報提供や指導の充実が図られていますか。

評価				保護者			教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎◆				71%	0%	29%	97%	3%	0%	84%	2%	15%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
・ 前籍校との連携のもと、必要な進路指導がなされている。(教職員)												
・ 保護者向け学習会は、良いと思う。(教職員)												
・ 進路指導を必要とする学園生数が圧倒的に少ないため、ノウハウの蓄積が難しい。(教職員)												
今後の方針		今後も、復学や進学に関しては、学園生、保護者、医療関係者、前籍校と連携しながら担任教諭を中心に組織的に取り組んでいきます。										

Q12

時間外勤務を各自が把握できる機会を提供されたり、働き方改革につながる業務改善提案がされていますか。

評価				教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
▲									
				73%	27%	0%	73%	27%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)									
<ul style="list-style-type: none"> 業務改善を行うためには、実質的な仕事量を減らさなければ改善はできないと考える。児童・生徒に関わることで以外のところでの、業務のスリム化を行うのが良いと考える。(教職員) 									
<ul style="list-style-type: none"> 超過しない限りどれくらい時間外勤務をしているか分からない。 可能性があるだけでなく定期的にどれくらい時間外勤務をしているか知らせてもらえると、対策ができると思う。(教職員) 									
<ul style="list-style-type: none"> その時々状況に合わせた勤務形態をもう少し考えてもよいかもしれません。(教職員) 									
今後の方針		<p>「自分自身の総労働時間を知る」ことは働き方改革の必須条件の一つです。現在実施している月の半ば時点でどのくらい超過勤務している時間をメール受信により把握することで、月後半の意識的な勤務時間の管理が可能になるため、メールでの周知は継続していきます。</p>							

Q13

主幹教諭・指導教諭・主任教諭の業務を明確にすることで、機能的・効率的な組織運営が進められていますか。

評価				教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○									
				88%	12%	0%	88%	12%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)									
<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭が中心となり、分教室を支えてくれている。(教職員) 									
<ul style="list-style-type: none"> 年度当初のミッションの提示により、本人以外も認知できる点が良い。(教職員) 									
<ul style="list-style-type: none"> 主幹の先生の仕事内容の見える化をして、できる教員に割り振っていける仕組みをつくることはできないか？(他の教員に比べて仕事量が格段に多い気がするので)(教職員) 									
<ul style="list-style-type: none"> 本人以外は、ミッションの進捗状況は見えにくいかもしれない。(教職員) 									
今後の方針		<p>主幹教諭・指導教諭及び主任教諭ミッション一覧表により業務遂行ラインを明確にし、機能的・効率的組織運営を図ってまいりました。今後も、ライン内でのワークシェアを一層意識して主幹教諭・指導教諭、主任教諭が中心となって業務の偏りを改善する取り組みを継続していきます。</p>							

Q14

働き方への意識改革や業務合理化・効率化と分担改善、等により、時間外勤務の縮減や、職場環境改善への取組みが推進されていますか。

評価				教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				85%	15%	0%	85%	15%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)									
<ul style="list-style-type: none"> 退勤時刻以降の留守番電話、本校はしているようですが、そよ風は行っていないので、そよ風でも取り入れてもらいたい。(教職員) 一部の教員に業務が偏らないように、分担し合っていてできる。(教職員) 									
<p>今後の方針 超過勤務者だけに改善を促すのではなく、全教職員に対して、一人一人の時間管理の意識啓発周知したり、主任教諭を育成して業務ラインを明確にするなどしてワークシェアを推進して参ります。</p>									

Q15

希望をすれば産業医への相談ができることの周知がされ、活用されていますか。

評価				教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				87%	13%	0%	87%	7%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)									
<ul style="list-style-type: none"> 相談ができるということは知ってはいたが、積極的に利用したいという意思表示する機会が少ないように感じる。(教職員) より活用しやすいように、年に1回でも分教室にも巡回指導や相談に来ていただけるとよい。(教職員) 情報はもらっても、実際相談できる時間の確保がなされていない。授業時間後には会議等があり、相談しにくい。(教職員) 									
<p>今後の方針 毎月1回産業医来校前に校内掲示板で呼びかけています。今年度は超過勤務10名を超す初任者や健康診断結果から必ず面談しなければならない方を優先して設定しました。分教室の教職員には、今年度同様、相談を受けやすい8月に優先して設定していきますが、もちろん毎月の相談も可能です。指導体制の調整を行いますので、担当者までお申し出ください。</p>									

Q16

校内の整理・整頓と美化や、分かりやすい校内表示の設置を行い、学園としての教育環境が整えられていますか。

評価				保護者			教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎◆				79%	0%	21%	97%	3%	0%	97%	3%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> 職員室が密になっている気がします。(保護者) 多摩美の方が作ってくれたそよ風のキャラクターを活用した校内表示は、子どもたちも和むようでよいと思う。(教職員) 												
<p>今後の方針</p> <p>コロナ禍の以前より、職員室環境整備を急務とし、病院と折衝を行い、令和2年度、第2職員室を設置しました。職員室内はサーキュレーターを使用し、常に窓を開けた状態で換気をしています。また個々の机上をボードで仕切るなど、感染予防の為に工夫をしており、密は避けられています。今後も感染予防には十分な配慮をしていきます。</p>												

Q17

全校学園生の共同によるプロジェクトは『学園一体感の醸成』という目的に沿って推進していますか。

評価				保護者			教員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎◆				83%	0%	17%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> 壁画の共同制作は日常の授業を通して他者との繋がりを作るきっかけになる取り組みで、アートを通じて学園生間の絆を深められたと思う。(教職員) 生徒にとっては新しい取り組みで本校の存在を知るきっかけとなっている。(教職員) 本校、分教室、病院訪問の学園生それぞれが、壁画作成に無理なく参加できる手法で作品を作ることができた。(教職員) 												
<p>今後の方針</p> <p>集団での取組や活動の実施が難しいコロナ禍の今年度においても、イラストレーターの小池アミゴさん監修のもと、分教室拠点を含む全学園が一体となって共同で巨大壁画制作に取り組みました。今後も、アートを始め、学園生同士の繋がりが図れる取り組みを実施していきます。</p>												

Q18

新型コロナウイルス感染予防対策全般が、都のガイドライン、病院の指示に則って行われていますか。

評価				保護者			教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				100%	0%	0%	97%	3%	0%	98%	2%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> 生徒はタブレット授業なので、対策はきちんとされていますが、職員室が密になっていると思います。(保護者) 感染者等になった場合の行動がフローチャートで適切に示されている。(教職員) 												
今後の方針 第2職員室の増設に伴い、1人あたりのスペースの確保に努めるとともに、職員室内はサーキュレーターを使用し、常に窓を開けた状態で換気をしています。また個々の机上をボードで仕切るなど、感染予防の為に工夫をしており、密は避けられています。今後も継続して各病院の感染拡大防止に向けた方針を把握・相談してまいります。												

Q19

新型コロナウイルス感染予防対策についての、情報が十分に伝わっていましたか。

評価				保護者			教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				100%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> 様々なツールを用いて迅速に情報が伝わっていた。(教職員) 保護者が安心できる形で、学校でのあらゆるシーンで感染予防対策の情報が伝わっていた。(教職員) 												
今後の方針 covid-19の感染拡大防止への成育医療研究センターの方針及び対応を常に把握・相談しながら、コロナ禍での学びの充実に向けて、連携を強化し、状況の変化に伴い、Pあてに常に文書etcで、お知らせしてまいりました。また、今年度は光明の橋～そよ風・病訪版～を3回発行することで、予防対策の他、情報発信に努めて参りました。今後も適宜迅速にお伝えしてまいります。												

Q20 新型コロナウイルス感染予防対策として、環境整備や衛生管理等安全確保が十分に行われていますか。

評価	保護者			教職員			全体					
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入			
◎				88%	4%	8%	97%	3%	0%	92%	4%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> 職員室が狭くて密になっている部分はあるが、アクリル板などを立てて個別の区切りをつけることができた。(教職員) 												
<ul style="list-style-type: none"> 授業で使うタブレットの消毒する場所、設定する場所などゾーンを分けてやっているのは、分かりやすくてよい。(教職員) 												
<ul style="list-style-type: none"> 衛生関連の備品消耗品が必要に応じて即時的に用意されていた。(教職員) 												
今後の方針												
<p>端末消毒を初め、病棟にもちこむ教材etcは、すべて細心の注意を払い、各病院が示す警戒レベルに応じて、都度、対応してまいりました。登校のなかった教室においても、「学園生が登校していたら…」の視点で安全点検を行うなどして、改善を図りました。</p>												

Q21 新型コロナウイルス感染予防対策体制の中で、学習保障が十分に行われていますか。

評価	保護者			教職員			全体					
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入			
○				92%	4%	4%	80%	20%	0%	86%	12%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> 人数や時間の関係上、仕方のない事かもしれませんが、1日1時間～2時間の授業数だと少し少ない気がしています。(保護者) 												
<ul style="list-style-type: none"> オンライン授業の時間数が少なすぎます。貸出タブレット数の問題もあるかもしれませんが、もっと時間数を増やすべきと考えます。(保護者) 												
<ul style="list-style-type: none"> オンライン配信授業時間(単元)をもう少し増やせると思います。(保護者) 												
今後の方針												
<p>オンライン授業が始まった6月以降を経て、この間、運搬や消毒作業の手順などの効率化を図ってまいりました。安心・安全な環境の確保を念頭に環境整備にかかる所要時間の縮減の工夫を重ねるなどしてまいりました。今後も授業時間数を増やしていけるよう改善を図っていきます。</p>												

Q22 学園生の個人情報保護し、児童・生徒の人権を尊重した業務が進められていますか。

評価				教職員			全体		
				プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				100%	0%	0%	100%	0%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)									
<ul style="list-style-type: none"> HP、お便り、作品展示や取材など、児童・生徒の情報が外部に出る際には必ず、保護者の承認事項の一覧を確認している。(教職員) ・十分に意識して業務が進められた。(教職員) 									
<p>今後の方針 個人情報の取扱いについては、引き続き東京都と本校の取扱いに係る指針に基づいて、徹底を図ってまいります。「個人情報の紛失等の事故ゼロ」は継続していきます。</p>									

Q23 教職員は、学園クオリティの基盤となる接遇マナーを実践していますか。

評価	保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	97%	3%	0%	97%	3%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)									
<ul style="list-style-type: none"> 教員によって、保護者対応や電話対応の言葉遣い等に差があるので、若手・ベテランにかかわらず学ぶ機会があるべきである。(教職員) ・分教室においては電話対応の際の名乗り、来校者への笑顔での対応がなされている。(教職員) ・以前、ある保護者の方から、「職員室の先生が表情が硬くて冷たい印象を受ける。」というご指摘があり、それ以後、自分自身も含め、より意識して明るく丁寧な対応になったように感じる。(教職員) 									
<p>今後の方針 保護者、関係諸機関との対応、電話対応等は、社会生活においてもコミュニケーション力を高め、襟を正し、社会人としてふさわしい行動をとることが基本です。継続してOJTを推進や、互いが注意し合う土壌づくりとともにし、接遇力向上研修を実施するなどして、ビジネスコードをふまえた学園教職員として誇りある行動を実践していきます。</p>									

保護者自由記述

	主旨	自由意見	学校回答
分教室保護者	感謝	短い時間でしたが、お世話になり、ありがとうございます。皆さんと対面での交流が出来れば尚良かったですが、リモートでも入院期間中に学ぶ機会をもたせて頂き助かりました。	ありがとうございます。本来なら、友達と関わることも多かったのですが、病院との相談の末にオンライン授業実施となりました。そのような状況ではありませんでしたが、友達と一緒に学ぶ良さを大切に考え、オンライン授業の中でも個別授業だけでなく、友達と一緒に授業も実施しました。
分教室保護者	感謝	入院中で、ようやく半分のところまでできました。本人の体調の善し悪しにもよりますが、授業を受けたくないということが多く聞かれて、少し悩まされるころではあります。入院生活後半で、少しでも小学校に戻ったときに苦勞しない為の集中力を養ってもらえたらと思います。コロナ禍で今までと同様の授業を行うことが困難な中、ご尽力いただけている事に感謝致します。	
分教室保護者	感謝	息子の体調を重視しながら、少しでも楽しくなるような授業展開をしてくださる先生方が多く、かつ、褒め方がとても上手だと感じました。短い期間でしたが、とても身になる学習をしていただき感謝しております。ありがとうございました。	ありがとうございます。治療のための体調不良を考慮しつつ、授業ができる時は、励ましたり、気分転換できる内容を入れながら進めています。授業内容については、退院後の生活を視野に入れながら進めております。
分教室保護者	感謝	病状に合わせてご対応頂き感謝しております。また、退院後の学習の不安にもアドバイスなどいただき、ありがたいです。ひきつづきどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。	
分教室保護者	感謝 プロジェクト	短い期間でしたが、色々挑戦させてくださり、苦手分野を熱心に教えて下さり、とても感謝しております。プロジェクトもみんな全員が1つになれているようで、1つの作品が素晴らしいものになっていることに、直接見る事が出来ませんでしたが、とても感動しました。他の学校でも、もっとそういう取りくみがあると良いのにと感じてしまいました。入院という少し暗くなる思いつめた時もありましたが、私が授業を受けた訳ではないですが、先生方に感謝しかないですし、息子も成長できたと思いますし、とても良い経験をさせて頂きました。本当にありがとうございました。	ありがとうございます。入院中、病院以外の方々と繋がる機会はなかなかありませんが、今回のプロジェクトでは、それぞれ異なる場所で、方法で学んでいる光明学園の学園生全員がつながることができました。私たち教員にとっても良い経験となり、今後も学園一体感が醸成できる取り組みを行っていきます。
分教室保護者	授業時間数	リモート授業なので、難しいと思いますが、授業数(授業時間)が少ないため、退院後の学校生活が心配です。自習などを積極的にできればいいのですが、本人の気持ちこそがそこまでありません。	授業時数については、オンライン授業開始時より、消毒作業や入力作業の見直しや工夫を行うことで増やすことができました。しかし、それでも本来の授業時間と比べれば少なくなってしまいます。今後も、授業時間増に努めてまいります。また補うための課題内容につきましても、取り組みやすい方法を考えてまいります。
分教室保護者	授業時間数	娘は、授業がとてもわかりやすいと言っています。1日2コマというのも娘にとっては集中しやすくいいみたいです。いつもありがとうございます。	ありがとうございます。体調を考えながら授業を調整し、分かりやすい授業を今後も続けてまいります。
分教室保護者	リモート授業の伝わりにくさ	新型コロナウイルスの影響のため、十分な学習が難しい。また、タブレットを通しての授業のため、対面とは違い、うまく伝えられない、勘違いがあるようで、難しさは感じられます。生活の中で、学校の時間は重要と思うので、引き続き宜しくお願いします。	ありがとうございます。確かにそのような場面は学部を問わず見受けられ、私たちも直接かかわれないことをはがゆく感じています。この1年で培ったスキルを駆使し、最初に体調を確認したり、ゆっくり話したり、チャット機能を利用するなど、今後も一人一人に合わせた関わり方を工夫してまいります。
分教室保護者	その他	実際にお会いしていないため、分からない設問については無回答とさせて頂きました。	ありがとうございました。今後、何かお気付きのことがございましたら、いつでもお知らせください。